

# くまもとスマートライフプロジェクト 健康経営に関するアンケート集計結果

実施期間：令和6年11月21日(木)～12月31日(火)

対象：スマートライフプロジェクト応援団に登録している企業・団体

配布：郵送にて送付

手法：webフォームまたはアンケート用紙に記入の上FAXもしくはメールにて返信

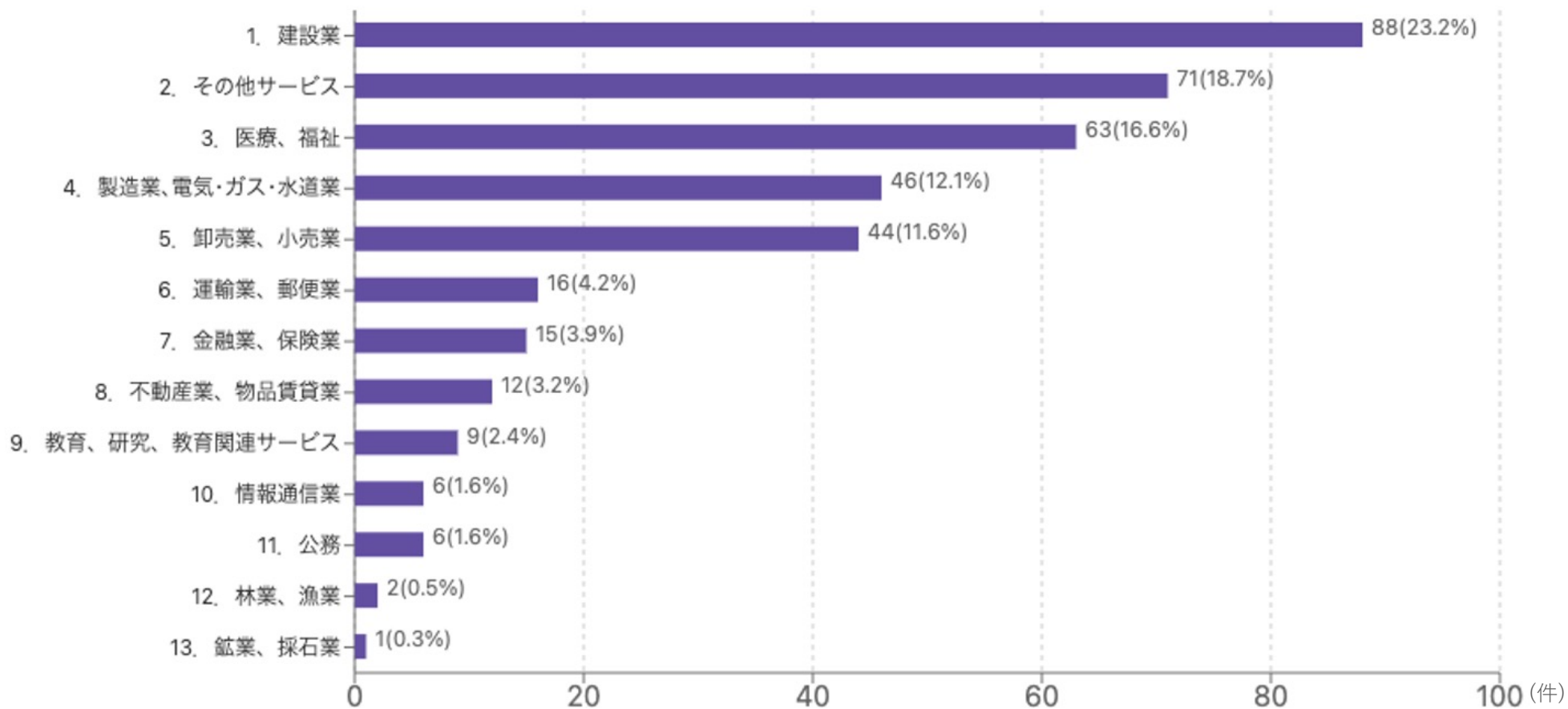
回答数：379件

回答率：14.6%



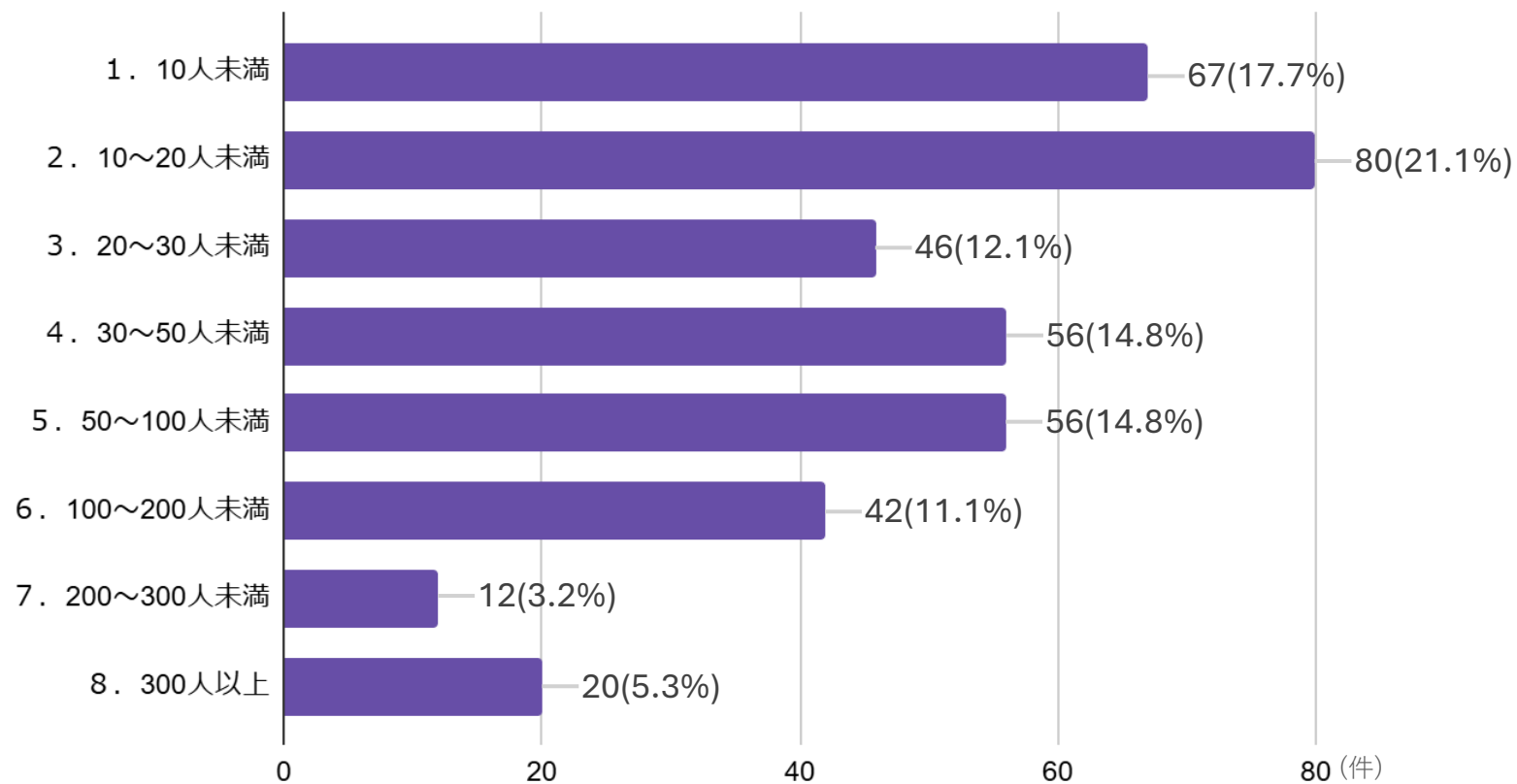
# 問1 業種をお聞かせください

379件の回答



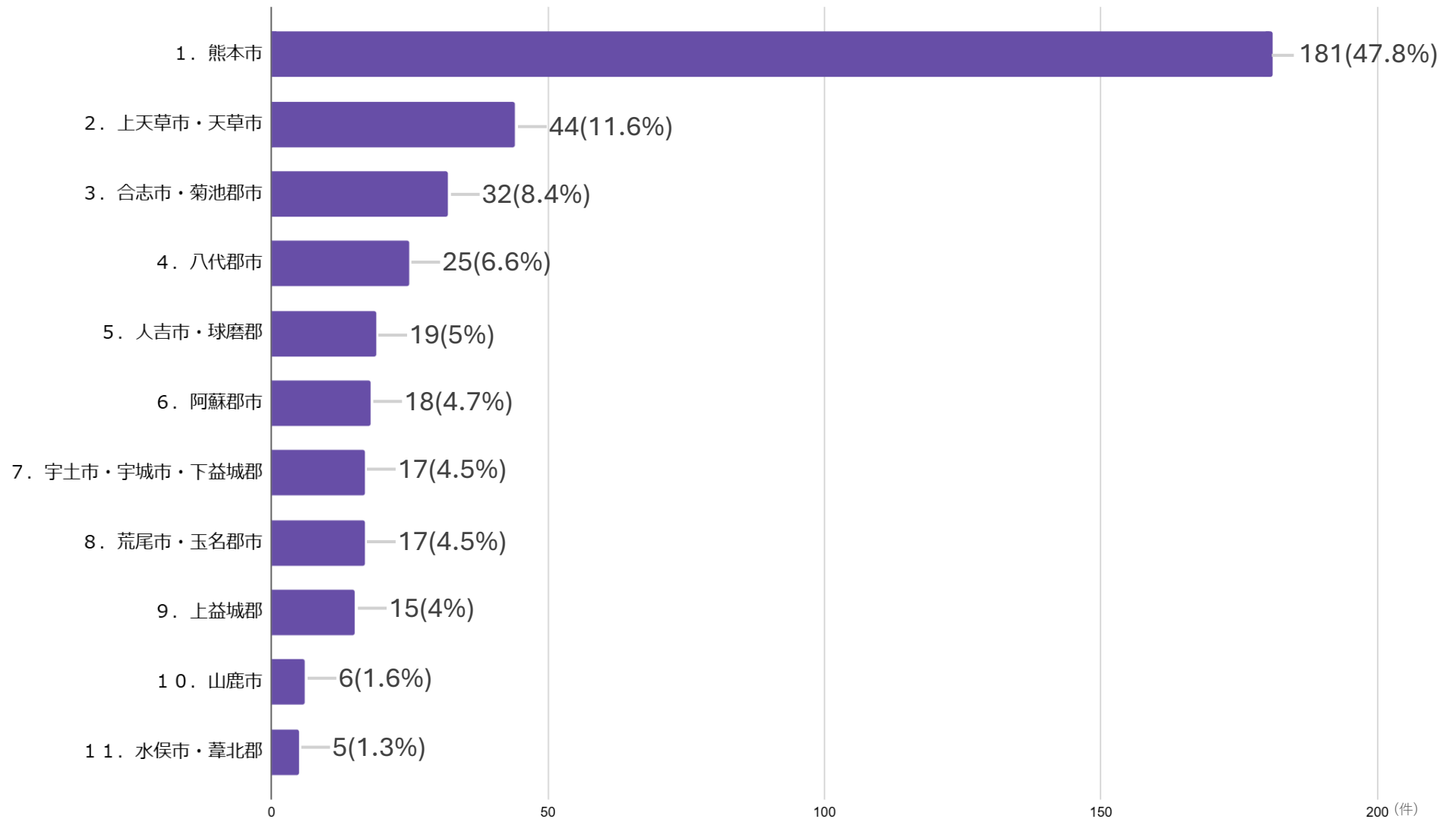
## 問2 従業員（構成員）数をおきかせください

379 件の回答



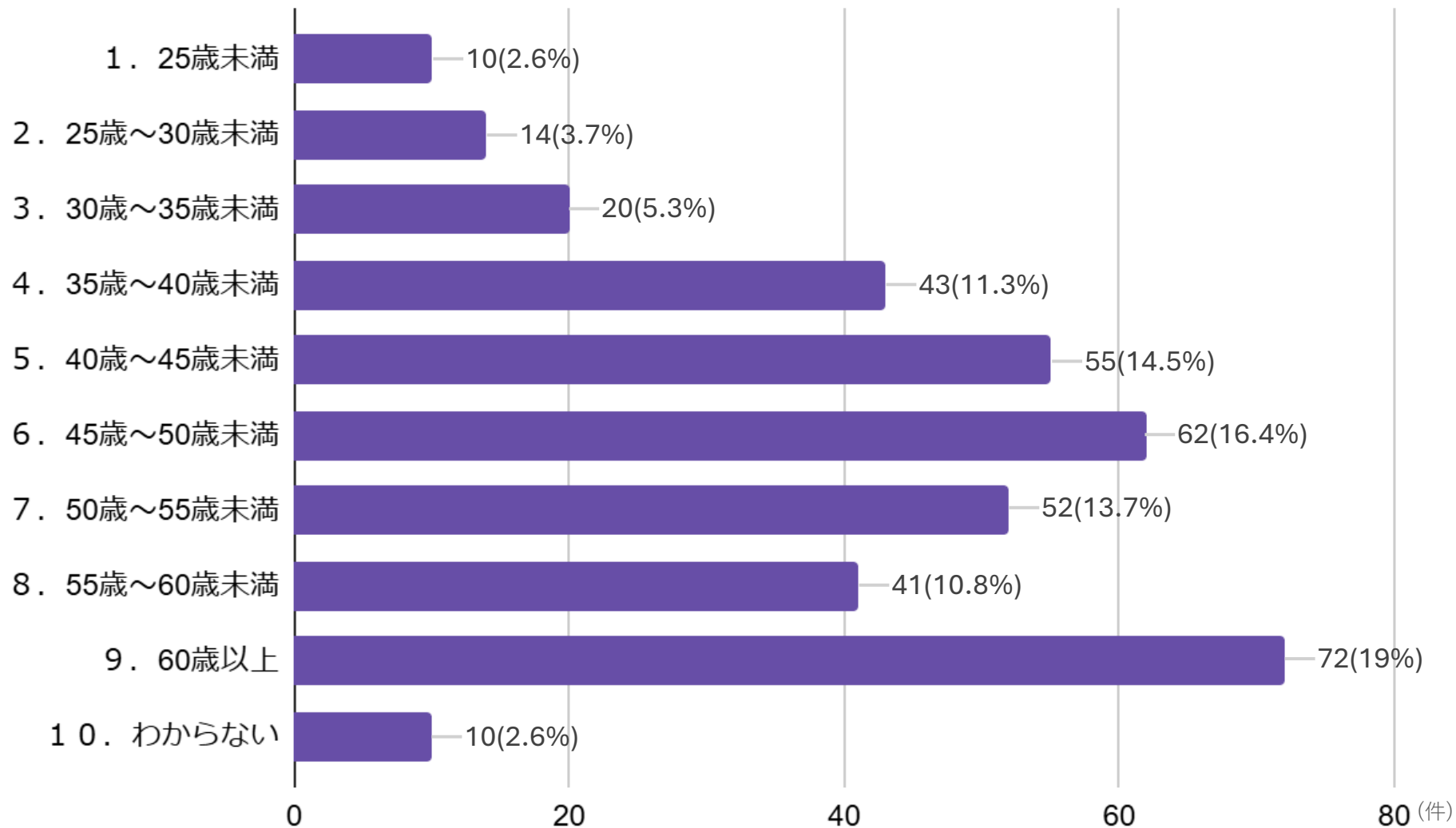
### 問3 所在地をおきかせください

379 件の回答



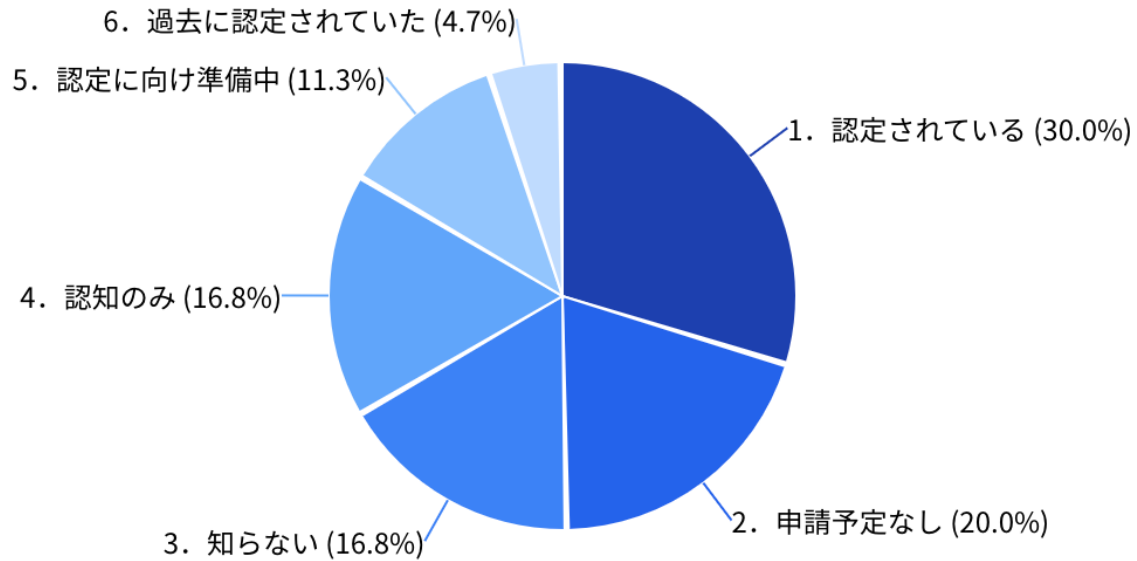
問4 社内で最も従業員が多い年齢層はどれになりますか。

379 件の回答



問5 経済産業省が設計し日本健康会議が認定を行う「健康経営優良法人認定制度」をご存じですか。

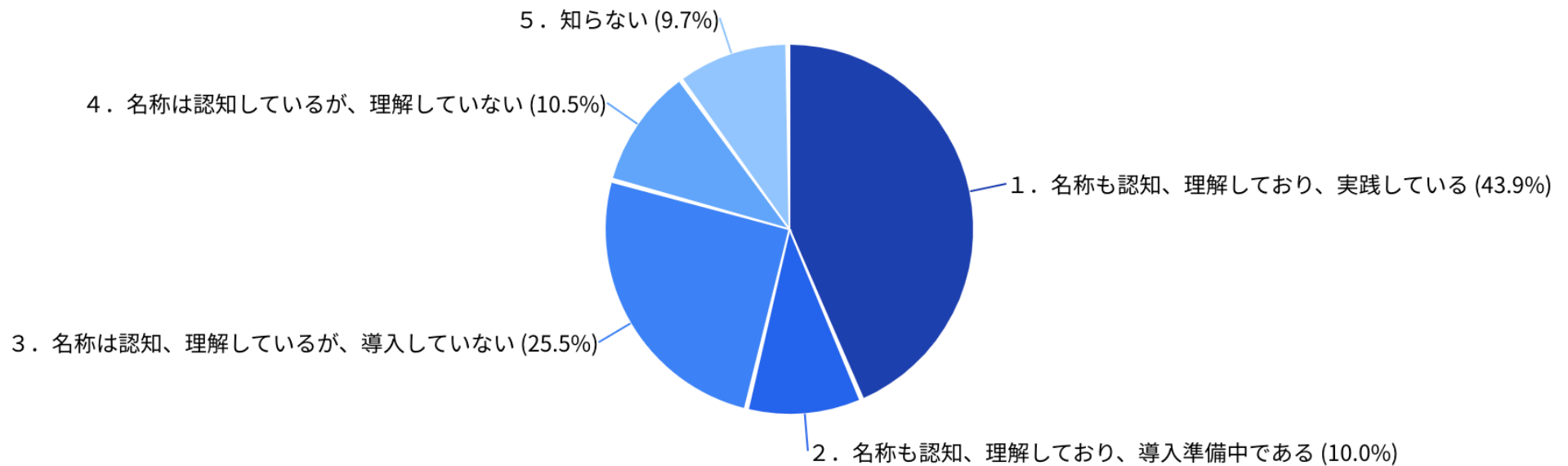
379 件の回答



選択肢	回答数	割合
1. 名称も認知、理解しており、認定されている	114件	30.0%
2. 名称は認知、理解しているが、申請する予定はない	76件	20.0%
3. 知らない	64件	16.8%
4. 名称は認知しているが、理解していない	64件	16.8%
5. 名称も認知、理解しており、初めての認定に向け準備している	43件	11.3%
6. 名称も認知、理解しており、認定されたことがあるが、今は認定されていない	18件	4.7%

問6 「健康経営」という言葉をご存じですか。また導入していますか。

379件の回答

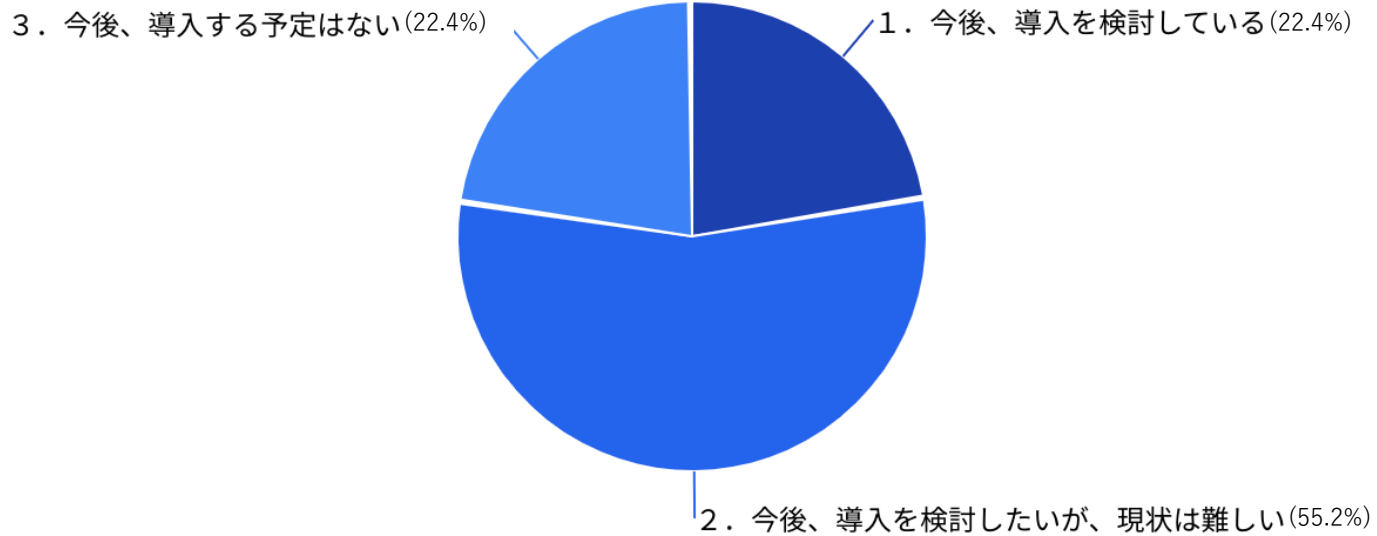


選択肢	回答数	割合
1. 名称も認知、理解しており、実践している	167件	43.9%
2. 名称も認知、理解しており、導入準備中である	38件	10.0%
3. 名称は認知、理解しているが、導入していない	97件	25.5%
4. 名称は認知しているが、理解していない	40件	10.5%
5. 知らない	37件	9.7%

問7 今後「健康経営」を導入したいと思いますか。

174件の回答

※問6で3～5と回答した方



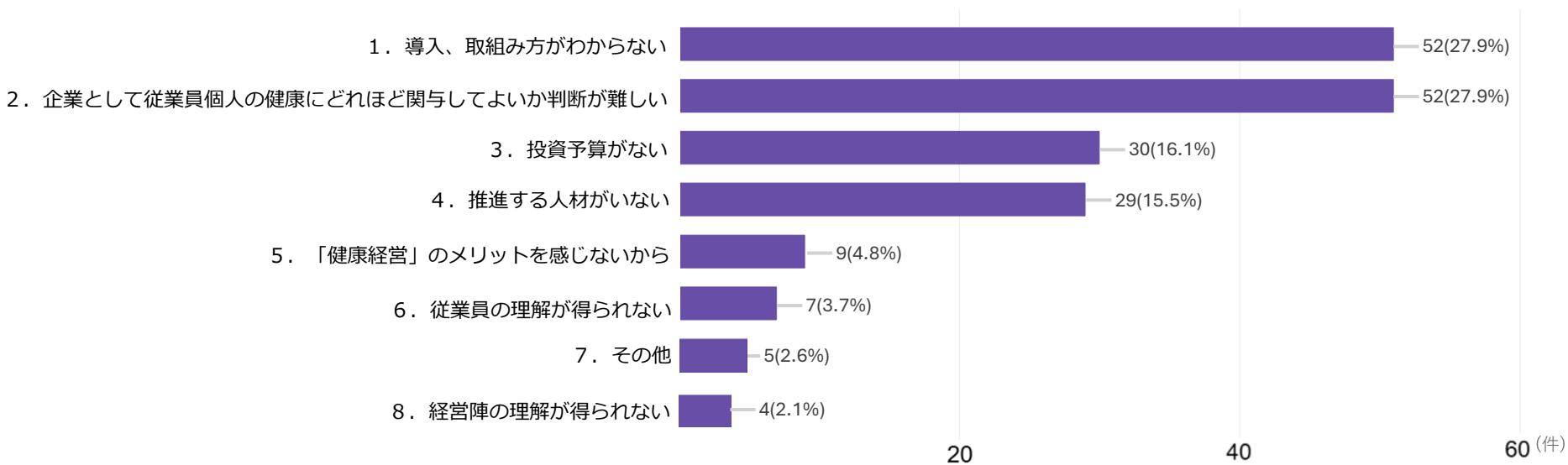
選択肢	回答数	割合
1. 今後、導入を検討している	39件	22.4%
2. 今後、導入を検討したいが、現状は難しい	96件	55.2%
3. 今後、導入する予定はない	39件	22.4%



## 問8 「健康経営」を導入していない理由はどれになりますか。【〇は2つまで】

135件の回答

※問7で2～3と回答した方

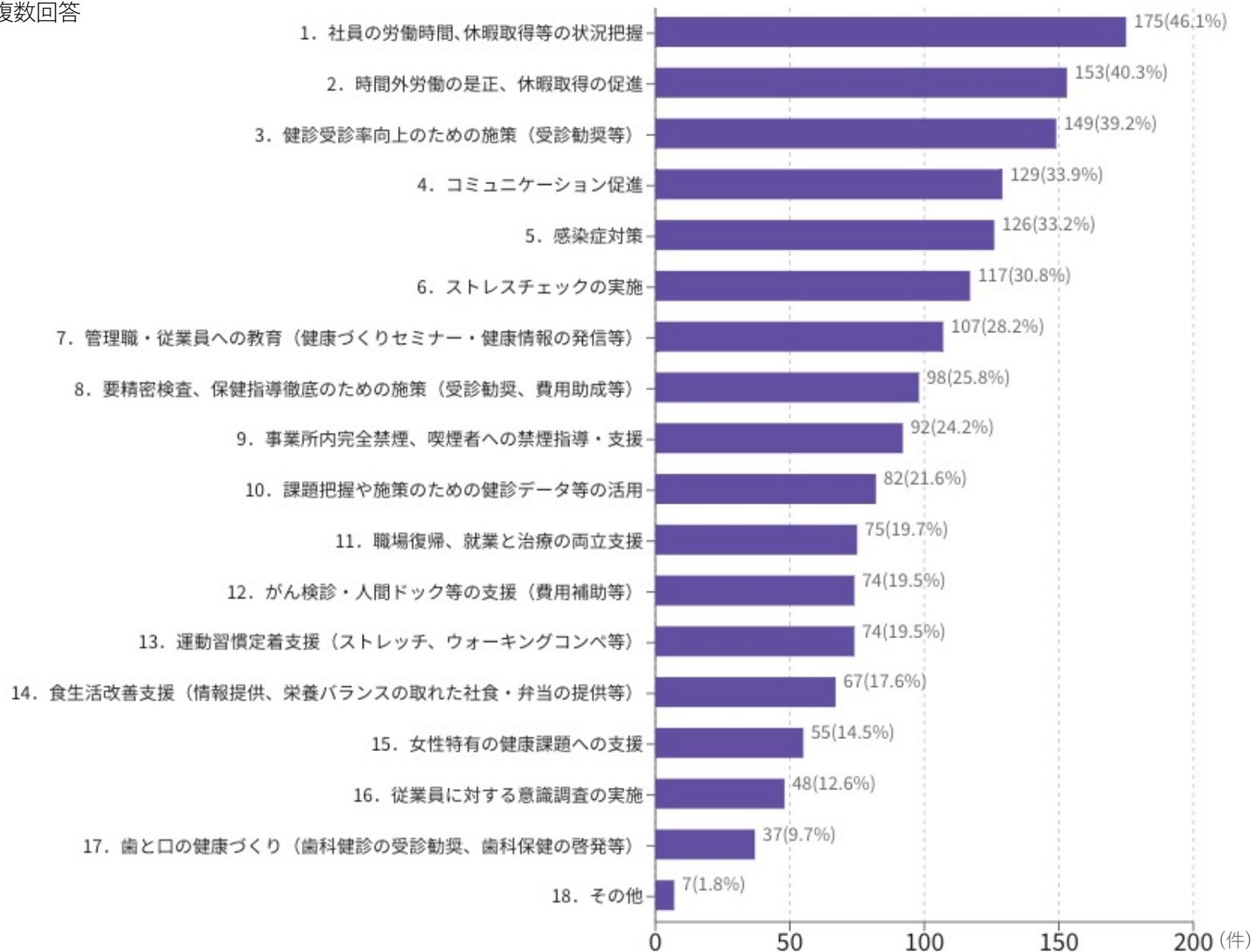


## 問9

「健康経営」についてどのようなことに取り組んでいますか（または取り組む予定ですか）。

※問6で1～2と回答した方

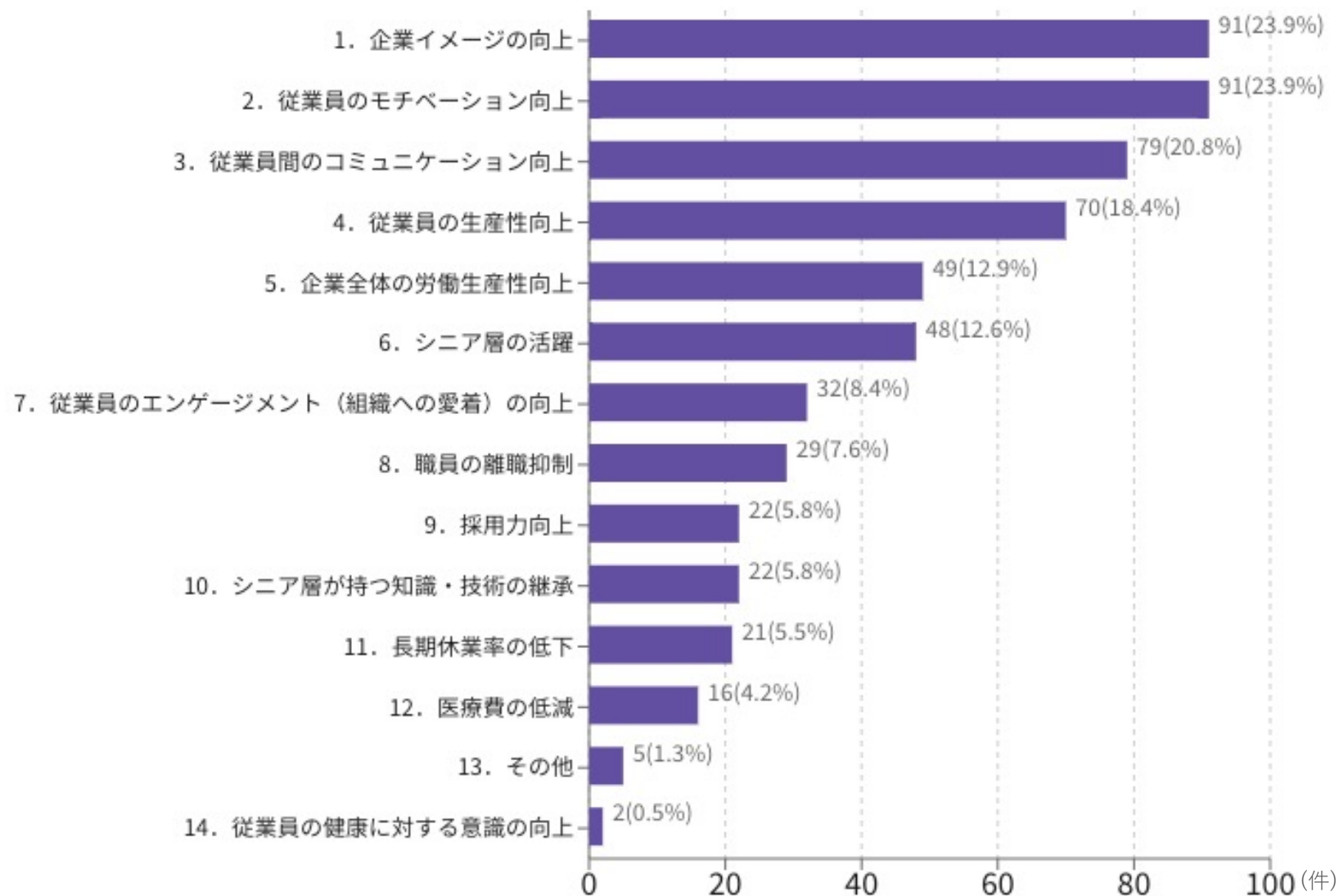
※複数回答



問10 「健康経営」を導入したことで得られた効果は次のうちどれですか。

※問6で1～2と回答した方

※複数回答



## 問11 特に効果があった取組や工夫があればご記入ください。

46件の回答

※問6で1と回答した方

- ・健康診断(特定以外も)全額会社経費、1日出勤扱いにすることで積極的に受ける方が増えた。再検査があった方も会社側から積極的に声をかけ有給を取得しやすい環境づくりをしたため、会社全体で健康への心がけが増した。
- ・健康診断の補助
- ・スポーツ奨励(運動施設費用全額支援)
- ・健康診断後の健康指導を受ける率が上がった。個人的に運動を始める人が増えた。
- ・受診勧奨や特定保健指導に力を入れており、従業員からも病の早期発見につながっていると報告を受けています。
- ・飲食物や健康に関する掲示物で、社内にとどまらず来客者にも健康意識、話題作りに効果がありイメージ向上にも役立っていると思う。
- ・普通の話をしながらか仕事健康面など話しやすい環境を作ることにより健康診断に積極的に行くようになった。
- ・健康診断については100%、再検査対象者も100%受診した。
- ・健康診断の全額会社負担と精密検査
- ・毎年の健康診断終了後に複数年の数値比較表を個別作成して渡している。
- ・健康診断再検査受診率100%
- ・コミュニケーション向上により、会話の中で自然に病歴等を知る事が出来た。医療手続き(高額医療申請)について、相談を受けた。
- ・産業医契約による指導
- ・健康診断を受けるように全体会議で推奨
- ・社員の健康状態の把握に努めるようになった
- ・医療費通知に事業主の「健康宣言」を同封して送付している。健康セミナーや特定健診の受診率が上がった。
- ・健康セミナーへの参加
- ・健診で要再検査や要治療の従業員への受診勧告で本人の健康に対する自覚がより高まった
- ・年1回の健診後、要再検査、精密検査の受診率が高くなり、健康に対する意識が高くなりました。今後もやれる事を順次取り組み健康経営に努めます。
- ・従業員、皆健康への意識が向上した。
- ・健康診断結果活用についての社員向け講習会の実施と、特定保健指導の受診勧奨
- ・要精密検査対象者にたいし、健診後3ヶ月以内に検査を行えば、一番高い費用を会社が負担することで早期受診率がアップした事
- ・新入社員研修にて生活習慣(食生活)について、ストレス対策について、外部に依頼し受講させている為、体調不良で休む新入社員が減少したように感じます
- ・朝礼前のラジオ体操の実施。
- ・女性の健康プロジェクトを立ち上げてから、女性社員の意見、提案を受け入れ働きやすい環境整備を始めている

## 問11 特に効果があった取組や工夫があればご記入ください。

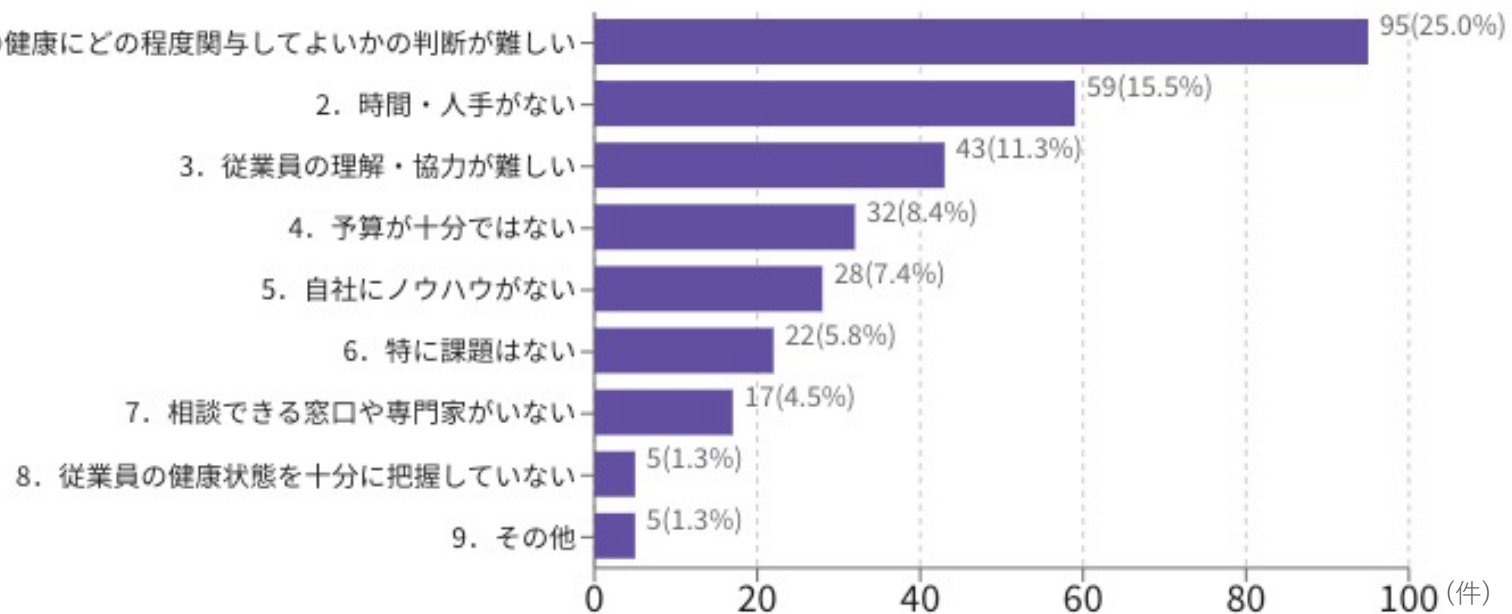
46件の回答

※問6で1と回答した方

- ・AIG ハイパーメディカル保険加入
- ・喫煙率が減少した。
- ・ベジメータ測定（野菜摂取量測定）を月に1回、行ったことで職員の野菜摂取への意識が高まった。また、週に1回、ベビーリーフの販売会を実施している。・今年度から健康経営に取り組む体制を変えたことで、職場全体で取り組むことができていると思う。"
- ・ウォーキングマシンイベント
- ・早期発見早期治療ができ、生活習慣病予防に効果が出ている。求人の際の条件として効果が出ている。
- ・有給休暇取得10日間を義務化している（会社規則）休暇の取得しやすい体制になっていると感じている。
- ・コロナ禍の期間を経て、施設内消毒や手洗いの徹底等の感染症対策が習慣化したことにより、感染症全般の蔓延が減った。
- ・健康経営での取り組み（社内でのイベントやセミナーの実施）をSNSで発信することにより、企業イメージの向上に役立てております。Instagramでは、健康経営に関する発信へのアクセス数が伸びているのも確認しております。社内のイベントは年二回のウォーキングコンペや健康チャレンジなどを行っており、社員同士での健康や運動に関する話題も活発になりコミュニケーションの向上にも効果が見えております。
- ・ベジチェックを導入し、定期的に野菜が足りているかをチェックし、健康管理に役立てた。
- ・組織学習によるストレス軽減とコミュニケーションの向上による生産性向上
- ・健康目標を個人単位、部署単位、グループ単位で考えてもらい、その健康目標をみんなで共有するという取組みを実施している。参加賞と達成賞を会社から贈呈している。会社みんなで健康になろうということ意識をして取り組んでいる。
- ・問9「1」「2」「3」と働き方改革などで有給消化率98%を達成(前年度繰越分は含まず) スタッフの心身が安定したことで生産性の向上に繋がっている。また、年2回の個人面談を実施することで経営層に意見や雑談ができる環境を整備した。これにより個人の悩み（職場と家庭環境）に寄り添いその改善を図っていることが功を奏していると推察している。
- ・職場復帰のサポート体制、就業と治療の両立支援（心身の不調で就業が困難となったスタッフに対し、復職プランを作成し、計画的に復職に向けた支援を行なっている）
- ・メンタルトレーニングの実施。
- ・レクレーション（ミニバレー等）を実施することでコミュニケーションにつながった。
- ・残業を減らす取組みや有給休暇の積極的な取得により、労働者の健康状態が良好になり社内が活気づき、コミュニケーションも活発に行なわれるようになった、組織の活性化につながった。
- ・勤務時間をデジタルで管理し、サービス残業・長時間労働撲滅、有給の適正取得等
- ・面談1on1
- ・企業イメージ
- ・HPに載せたのを、お客様が見て信用に結びつき契約となった事例複数。（派遣で体操等、来社頂いた）
- ・社内ウォーキングイベントを実施して健康経営に取り組んでいます。

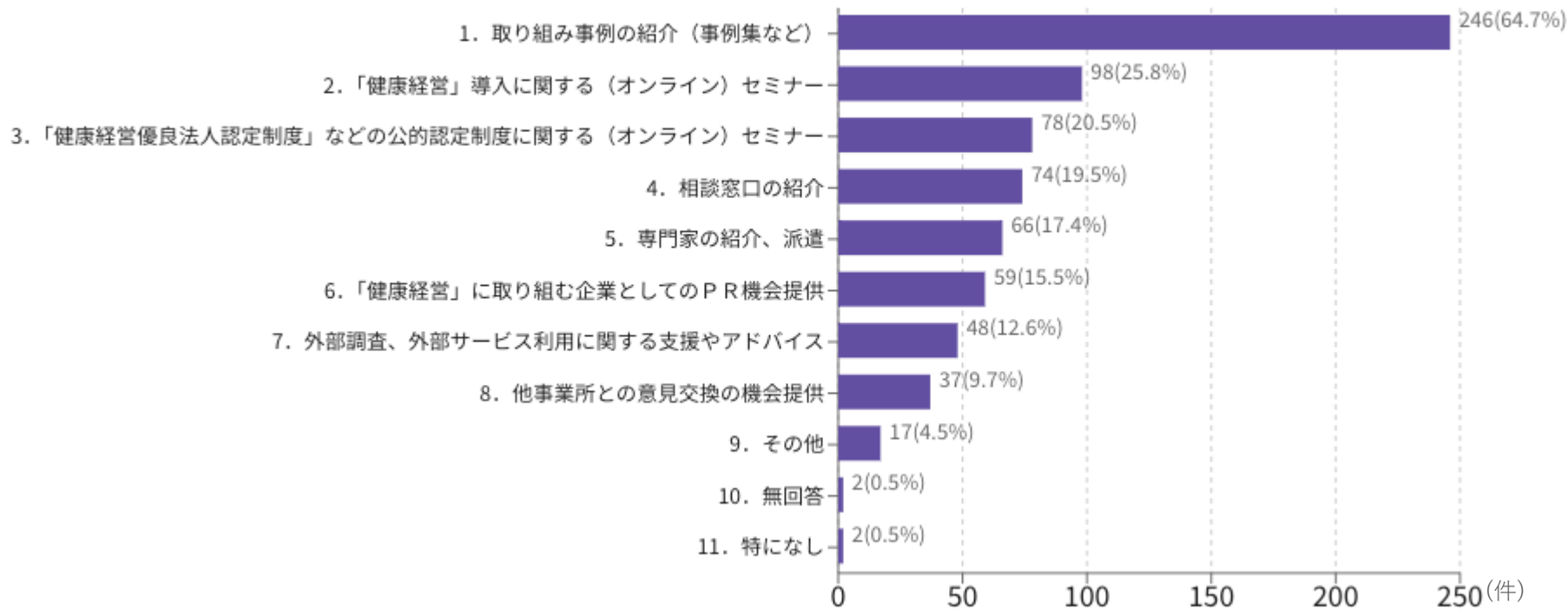
問12 「健康経営」の実践における課題として近いものはどれですか。 ※チェックは2つまで

※問6で1と回答した方



問13 「健康経営」について行政に求める支援はどのようなものですか。

※複数回答



9. その他の回答

- ・管理、実践するための雛型やチェックシート、フローシート、運動例など
- ・健康セミナーの開催
- ・血管年齢や骨粗鬆症など一目でわかる健康器具のレンタル
- ・健康経営を実践するための費用負担
- ・減税や健康保険料の低減
- ・施策に対する助成金を検討して欲しい

## 問14 最後に事業所における「健康経営」について、ご意見等ございましたらご記入ください。

33件の回答

※問6で1と回答した方

- ・ ブライト500として、広く啓発や周知活動をしていくために、健康経営コンサルティングを立ち上げ、経営者の健康宣言、取組の具体的なアドバイスや要件項目の解釈の仕方などを無料で支援しています。たくさん企業がもっと楽しく健康経営に取り組んでいけるお手伝いを目指しています。
- ・ 個人の健康への取組みに対し、会社としてどこまで踏み込むかの問題がある。情報等を提供して個人の健康に対するモチベーションを上げていく取組みがメインになるのかなと思います。
- ・ 健康経営は企業にとっても、従業員にとっても利益がある取組みは重々理解しているが、会社側からの取組みにパワーが必要です。また予算も大事な所です。
- ・ 取り組み方が完全に理解できてない状態 今後導入を検討したい。
- ・ 健康経営優良法人認定を受けていますが、まだ解決すべき課題は多いのですが、1項目ずつ課題解決を行いながら健康経営の社員への浸透を実現したい。
- ・ 女性の多い職場であり、女性社員の意見を取り入れる環境がなかった。今回女性の健康プロジェクトを女性社員で構成し立ち上げ、意見、提案が多く発信されるようになり検討に入っている。
- ・ グループ会社全体的な施策を取り入れて行っている。運動の継続、食生活の改善、コミュニケーションスールの活用などを実施しているが、まだ全員に浸透しているわけではないのが課題
- ・ 中小企業の為、費用助成等難しい面があります。例えば健康経営有料法人に認定されたら助成されるなどの恩恵があると有難いです。その資金は健康経営の為だけに活用し、活用後の助成でも良いかと思います。
- ・ 今後も健康経営続けていきます
- ・ 年1回の健康診断実施・職員の健康状態に合わせた勤務体制実施上記の件は実施しているが、職員個々の啓発までには至っていないと思われる。
- ・ 人材不足・人材確保が叫ばれている昨今「健康経営」重要な課題、情報提供をお願い致します。
- ・ 「コストから戦略的投資へ」との言葉だが、結局お金がかかるところは事業者側に丸投げ。事業者と労働者は、売上が上がって利益が伸びても、給料が上がって所得が増えても、何をやってもお金を取られてしまう。行政が「健康経営」を推し進めるのであれば、それに伴う「実質的」なメリットが事業者と労働者に必要だと考える。（メリットとは「健康で長く働けるよ」ということではない）
- ・ 社員の健康は即生産性の向上につながるので留意している
- ・ 弊社のような小規模な企業において健康経営を推進することは、大きな投資は難しいと考えておりますが、従業員との距離が近いことは強みであると考えています。
- ・ 更新の案内メールの不達の為、本年は健康経営認定が流れてしまいました。悲しいです。
- ・ 今後取り組む予定です。
- ・ まだ、健康経営にピンとこなく、すみません
- ・ 従業員の健康への取組みは行っていますが、経営的な視点で考え戦略的に実践する「健康経営」に結びつけようとすると、ハードルが高くなるような気がしています。
- ・ 健康的な職場でありたいと思っており、健康診断は毎年実施しております
- ・ 企業における重要な取組みと認識しています



## 問14 最後に事業所における「健康経営」について、ご意見等ございましたらご記入ください。

33件の回答

※問6で1と回答した方

- ・良い内容の企画だと思い実施しています。しかし、小規模企業ではそれに係る人材確保が難しい。通常業務に加え問9の1～18を実践できるように、各実践項目別に雛形、チェックシート、フローチャート、運動例、ビデオ、youtubeなどで実践方法を作成してほしい。それを、導入編、初級、中級、上級編で分別してステップアップするシステムを整えてから事業所に投げかけてもらえると参加する企業が増え、現場負担が軽減されるのではないのでしょうか。専門家の紹介や派遣は日々の業務が多忙すぎて受け入れるのでさえストレスになります。働き方改革になっていません。
- ・今後、当法人における健康経営を推進できるよう、セミナーを受講したり、他企業の取り組みを参考にしたりしながら、活動内容を検討していきたいと思えます
- ・オンラインセミナーをYOU TUBE等いつでも視聴できるようにしてほしい。決まった時間での参加が難しい為。
- ・大変手間がかかるため中小企業には負担が大きいと存じます。
- ・これからも健康経営に努め明るい職場作りにつとめたい。
- ・社員の健康管理は企業としても重要だと認識している。実際の進め方等の具体的指導が頂きたい
- ・医療法人ということもあり、職員の健康管理は独自で強化している。自治体が考える健康経営の中身が具体的に分からない。
- ・本人でしか健康状態がわからない事が多いので事業所として少しでも他人の状態がわかればと思えます。
- ・試行錯誤と創意工夫を繰り返して働きがいのある会社を目指します。
- ・行政からの細かな推進情報の発信や、メリット(割引や無料の拡大)等のご検討、ご発信などが有れば良いと思えます。
- ・弊社も社員の年齢層が上がり、将来に不安があります。とはいえ募集しても若手の応募はなく、厳しい状況ではありますが、今在籍されている社員さんを健康面からサポートして長く働ける環境作りに努めます。
- ・集団健康診断後の事後指導総評で保健師より朝食を取らないスタッフが多いという結果をうけ、朝食の取れる環境を整えたいと考えています。血圧が高いスタッフも多く、朝食を取らないと血圧も上がりやすので今後朝食が取れる環境づくりに取り組んでいきたいと考えています。
- ・人材を人財とするのはとても素晴らしい取り組みだとおもいます。人口減少がこれからの課題だとも言われているなかで、人の数だけにとられることなく、一人一人を大切に作る社会が、これからは大切になってくる時代だと思えます。ぜひ、これから健康経営に積極的に取り組んで、活気溢れる会社にしていきたいです。